

SK PREMIUM SILICONE

SK
PREMIUM
SILICONE



超耐候形水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料

エスケー プレミアムシリコン

建築仕上塗材のトップメーカーがお薦めするプレミアムリフォーム

お住まいを長持ちさせるには 塗り替え(メンテナンス)が必要です。

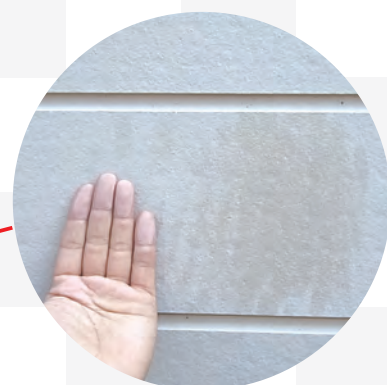
四季の移り変わりや、最近では紫外線の増加、異常気象による温度上昇、集中豪雨など、塗膜劣化の要因となる因子が増加傾向にあります。建物の外壁の劣化進行を抑制し、より美しく建物を蘇らせ、長持ちさせるためには、高品質な塗料で塗り替えることをお勧めします。

～自然・外的要因による塗膜劣化の原因～

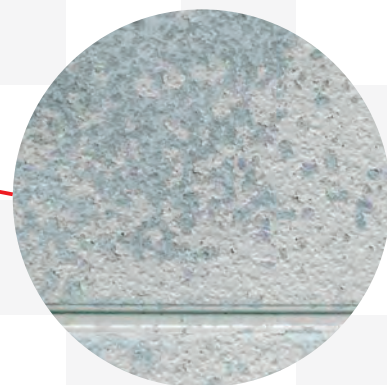
●**紫外線(UV)** ●熱 ●雨 ●湿気 ●結露 ●気温変化など



経年により、外壁はダメージを受けています。



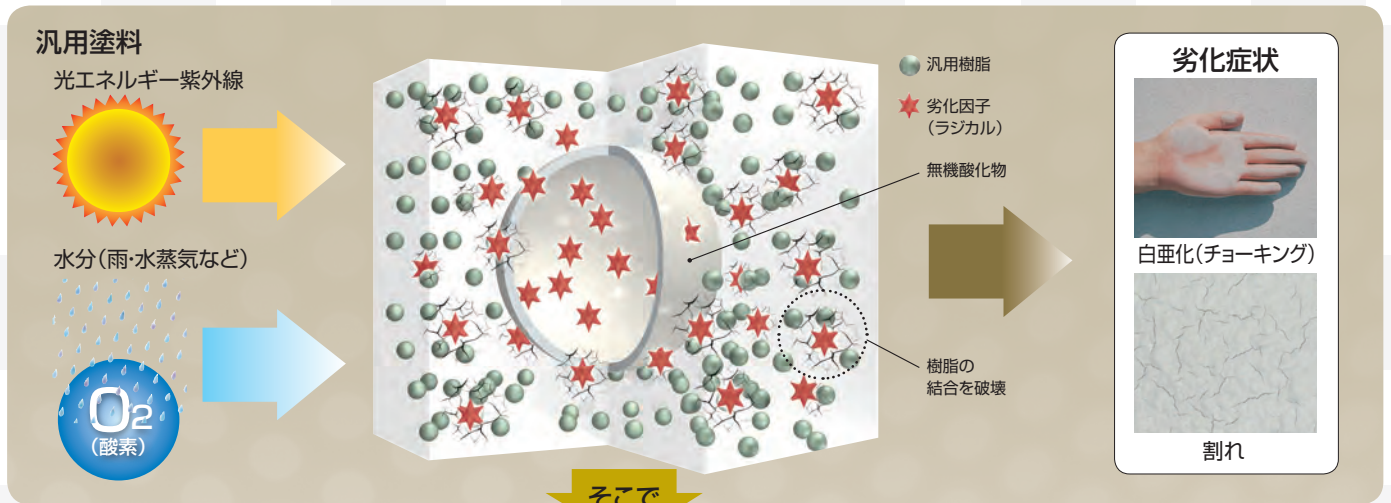
白亜化(チョーキング)



塗膜の剥がれ・割れ

外壁劣化のメカニズム

従来の汎用塗料は紫外線、酸素、水などの影響で塗膜の中に劣化因子(ラジカル)が発生し、結合材として使用される樹脂の結合が破壊され、塗膜劣化の原因となっています。その劣化因子を発生、増加させる原因の一つが顔料として一般的に使用される無機酸化物です。



エスケープ化研が最新技術による高品質プレミアム塗料をお薦めします。

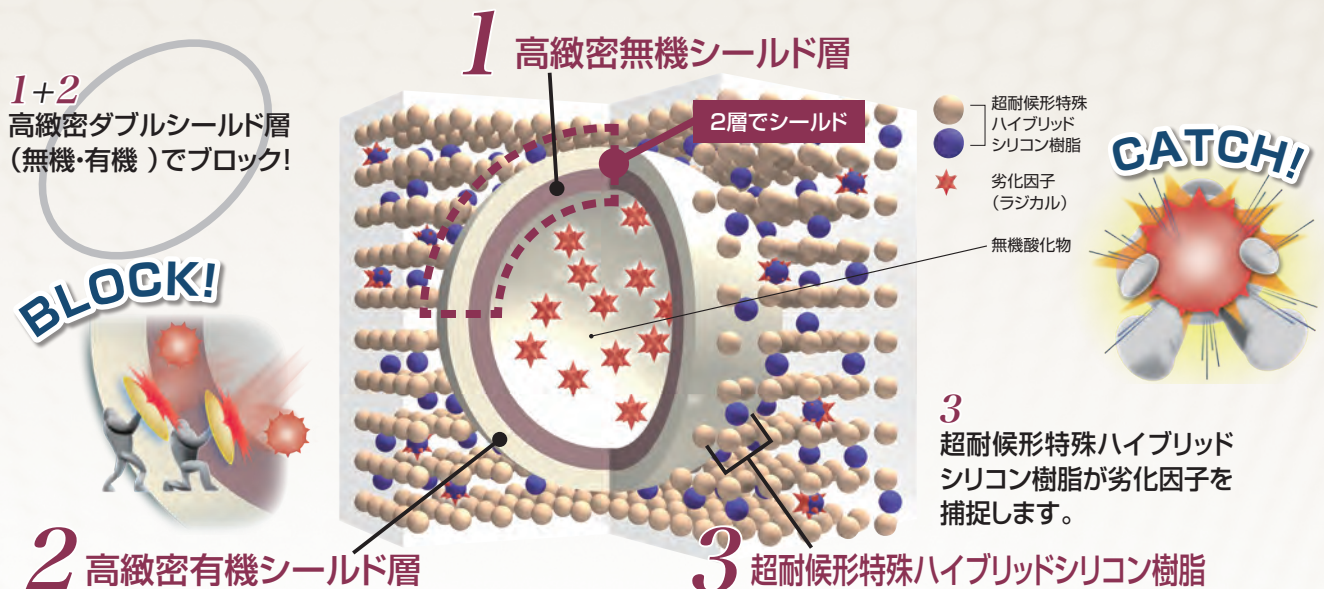
紫外線(UV)・酸素・水による塗膜の劣化を3つの力で防ぐ

トリプルガード効果

エスケーププレミアムシリコン

ここがプレミアム

無機酸化物は、通常表面処理を施されておりラジカルの発生を抑制していますが、エスケーププレミアムシリコンではその表面を①高緻密無機シールド層と②高緻密有機シールド層でダブルでガードすることにより、ラジカルの発生をさらに抑制します。また、③超耐候形特殊ハイブリッドシリコン樹脂は劣化因子を捕捉し、塗膜の劣化の進行を抑制。長期的な保護効果を示し、塗膜の耐候性を向上させます。この3つのトリプルガード効果により住まいを長期に亘り守ります。



〔超耐候形水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料〕をお薦めするプレミアムな理由。



1

PREMIUM

メンテナンスコストがお得です。

トリプルガード効果により紫外線(UV)や水等の劣化要因から建物を保護します。また、その塗膜は長持ちするため、塗り替え回数の軽減に寄与します。

◎塗り替えサイクルの目安【例】

塗り替え工事を長い目で見るとお得!

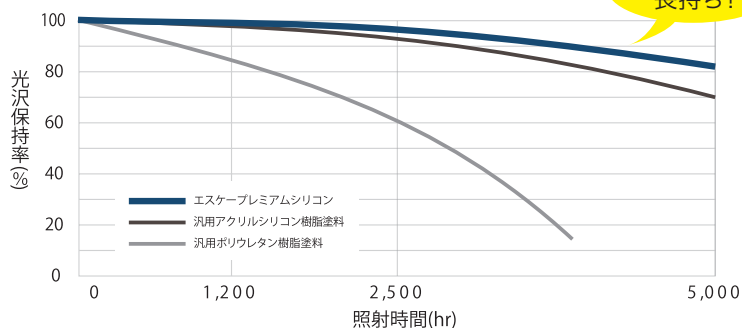


※塗り替え年数は目安です。建物の立地条件、環境等によって異なります。また、塗り替えに関するコスト等は下地の劣化状況によっても異なります。

◎促進耐候性グラフ

汎用塗料に比べ優れた耐候性を示します。

●促進耐候性試験 (キセノンランプ法)



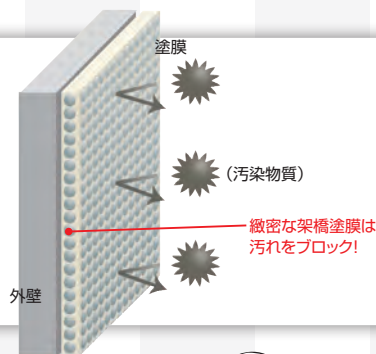
2

PREMIUM

汚れに強い塗料。

◎低汚染・防かび・防藻性

緻密なハイブリッドシリコン樹脂の架橋塗膜は汚れを定着しにくくします。また、特殊設計により、長期に亘ってかびなどの微生物汚染を防ぎます。



3

PREMIUM

抜群の作業性。

隠ぺい性の高い塗膜と塗り易い粘性により作業効率を向上させます。

プロも納得!



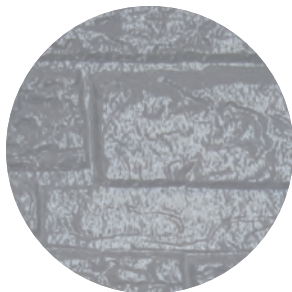
建物の外壁はサイディングやコンクリート、モルタル等様々ですが、その表層は塗料等の仕上材が施されています。しかし、これらの塗膜は紫外線(UV)、熱、水等により経年で劣化が進行します。そのまま放置すると躯体表層への水の含浸や寒熱繰り返しにより、躯体や基材まで劣化が進むため、そうなる前に保護することが重要です。*「エスケーププレミアムシリコン」は従来の水性シリコン樹脂と比較し耐候性に優れ、塗り易く、作業もはかどり、塗り替えに最適です。仕上がりは光沢のある塗膜でお住まいを美しく維持します。

*躯体や基材まで劣化が進行する前に塗り替えをお勧めします。

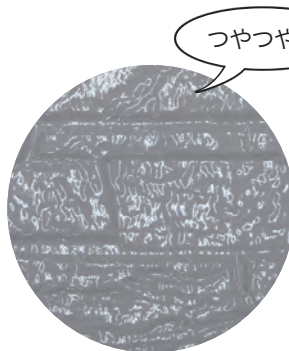
4
PREMIUM

つやつやした仕上がり。

超微粒エマルジョンからなる滑らかな塗膜は従来の水性塗料と比べ、艶が高く抜群の仕上がり性を提供します。特に、戸建てサイディングの塗り替えでは、下塗りとして「水性SDサーフエポプレミアム/マイルドSDサーフエポプレミアム」をご使用ください。相乗効果により、優れた仕上がりを発揮します。また、艶を抑えた仕上がりには、エスケーププレミアムシリコン半艶、3分艶をご使用ください。



汎用塗料
(艶有り)

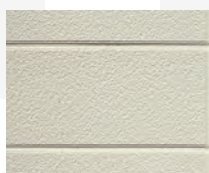


エスケーププレミアムシリコン
(艶有り)

つやつや!



窯業系サイディング、コンクリート、モルタル等それぞれ下地に合わせてお選びください。



水性エポキシ樹脂系サーフェーサー
水性SDサーフエポプレミアム

弱溶剤エポキシ樹脂系サーフェーサー
マイルドSDサーフエポプレミアム

広範囲適用型弱溶剤特殊エポキシ樹脂シーラー
エスケープハイブリッドシーラー-EPO

光触媒(無機)コーティングのサイディングに

上塗り



超耐候性水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料
エスケーププレミアムシリコン

下地選び

下塗り



水性特殊合成樹脂エマルジョン系弾性サーフェーサー
エスケープ弾性プレミアムフィラー

水性/弱溶剤エポキシ樹脂系サーフェーサー



水性/マイルドSDサーフェエポプレミアム

窯業系サイディングの塗り替えに



- 特長**
- 優れた仕上がり性
 - 幅広い付着適用性
 - 塗装作業性
 - 防かび・防藻性

高い隠蔽性

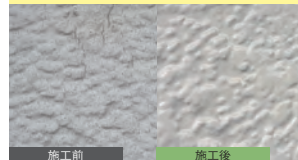
かぶりがいい!



汎用サーフェーサー 水性SDサーフェエポプレミアム

優れた下地調整機能

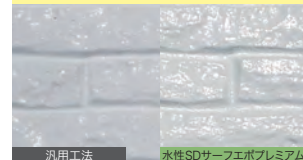
微細なひび割れを調整!



施工前 施工後

美しい仕上がり

仕上がりがなめらか!



汎用工法 水性SDサーフェエポプレミアム

塗膜表面のヘアクラックなどが埋まり、滑らかな仕上がりを、また上塗りの滑らかさを際立たせ、光沢のある美しい仕上げを提供します。

水性特殊合成樹脂エマルジョン系弾性サーフェーサー



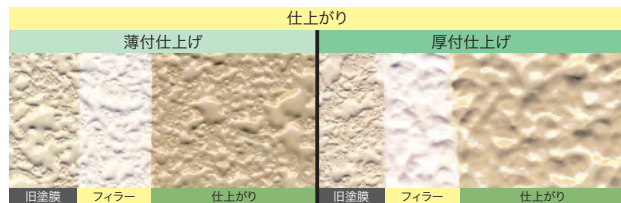
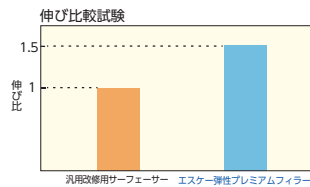
エスケー弾性プレミアムフィラー

ホルムアルデヒド 放散等級 F☆☆☆☆

コンクリート・セメント・モルタル・ALC等の既存塗膜がある場合の塗り替えに



- 特長**
- 幅広い付着適用性
 - 工期短縮
 - 豊富な仕上げ
 - 塗装作業性(軽くて伸び易い・低スパッタ)
 - ひび割れ追従性



広範囲適用型弱溶剤特殊エポキシ樹脂シーラー

エスケーハイブリッドシーラーEPO

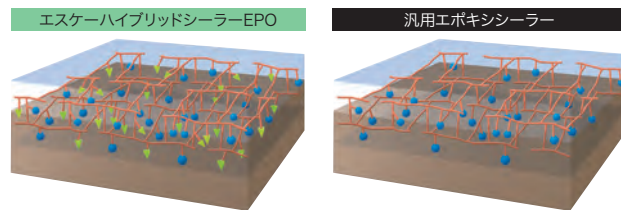
ホルムアルデヒド 放散等級 F☆☆☆☆

光触媒コーティング・無機コーティングが施されているサイディングの塗り替えに



- 特長**
- 幅広い適用性
 - 浸透性
 - 耐水性・耐アルカリ性

このシーラーでは様々なサイディングの塗替えが可能となり、幅広く対応できます。



●: 特殊エポキシ官能基

▼: 特殊無機成分

汎用エポキシシーラーには有機系既存塗膜には優れていますが、無機系既存塗膜に対しての付着性は十分ではありませんでした。エスケーハイブリッドシーラーEPOでは特殊無機成分の複合により有機系既存塗膜にもちろんのこと、無機系既存塗膜にも優れた密着性を示します。

■荷姿

- エスケープレミアムシリコン(艶有り、半艶、3分艶) 15kg石油缶(標準塗坪:43~68㎡)、4kg缶(標準塗坪:11~18㎡)
- エスケー弾性プレミアムシリコン(艶有り、半艶、3分艶) ... 15kg石油缶(標準塗坪:43~68㎡)、4kg缶(標準塗坪:11~18㎡)
- 水性SDサーフェエポプレミアム 15kg石油缶(標準塗坪:38~83㎡)
- ★マイルドSDサーフェエポプレミアム 15kg石油缶(標準塗坪:38~83㎡)
- エスケー弾性プレミアムフィラー 15kg石油缶(標準塗坪:15~75㎡)
- ★エスケーハイブリッドシーラーEPO 15kgセット(標準塗坪:75~187㎡/セット)
- ★塗料用シンナーA 16ℓ石油缶

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

■用途

戸建て住宅、中低層集合住宅の内装、店舗・事務所・工場・倉庫などの内外装、学校など公共施設の内装

注1 塗装時に光沢が残っている劣化していない塗膜に塗装する場合は、目荒らしを行ってください。



【危険情報と安全対策】

製品の取り扱いにはそれぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

- 引火性の液体のため、火気厳禁です。
- 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
- 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書をご確認ください。

【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

■標準施工仕様

●改修（下地：モルタル、コンクリート 既存塗膜：吹付タイル、リシンなど）

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地調整	●旧塗膜に脆弱層のある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000などで段差修正後、パターンの復元を行ってください。なおセメント系下地調整塗材(ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコなどの下塗材を塗付してください。 ●高圧洗浄(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							—	
1	下塗り (薄付仕上げ) ※1.2	エスケープレミアムフィラー	100	0.20~0.5	1	—	3以上 ※4	—	ウールローラー 刷毛
		清 水	5~8	—					
1'	下塗り (厚付仕上げ) ※1.2	エスケープレミアムフィラー	100	0.5~1.0	1	—	4以上 ※4	—	M-9ローラー(マッシュクローラー) リシンガン 口径:4~5mm 圧力:392~588kPa (4~6kgf/cm ²)
		清 水	2~8 ※3	—					
2	上塗り	エスケープ(弾性)プレミアムシリコン	100	0.22~0.35 *	2	2以上	—	24以上	W-2ローラー(ウールローラー)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	0~8 ※12	—					

*凹凸が小さく吸い込みが少ない下地の塗り替えの場合は所要量が少なく、吹付けタイル下地等凹凸の大きく吸い込みが多い下地の塗り替えの場合には所要量が多くなります。また、規定所要量を厳守してください。

●改修（下地：窯業系サイディング）

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地調整	●劣化した塗膜は除去してください。 ●高圧水洗(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを水洗にて除去してください。 ●劣化した目地材は除去した後、シーリング材による打ち替えを行ってください。							—	
1	下塗り (水性仕様) ※5.6	水性SDサーフェスポレミアム*	100	0.18~0.40	1	—	3以上	—	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	5~10 ※7	—					
1'	下塗り (弱溶剤仕様) ※5.6	マイルドSDサーフェスポレミアム*	100	0.18~0.40	1	—	3以上 7日以内	—	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
		塗料用シンナーA	0~20 ※8	—					
2	上塗り	エスケープ(弾性)プレミアムシリコン	100	0.22~0.35 *	2	2以上	—	24以上	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	0~8 ※12	—					

*モルタル、コンクリート下地の改修用としてもご使用いただけます。詳しくは別途お問い合わせください。

*サイディング等凹凸が小さく吸い込みが少ない下地の塗り替えの場合は所要量が少なく、吹付けタイル下地等凹凸の大きく吸い込みが多い下地の塗り替えの場合には所要量が多くなります。また、規定所要量を厳守してください。

●改修（下地：サイディング(光触媒コーティング、無機系コーティング等を含む) / 新築（下地：押出成形セメント板、GRC板など）

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地調整	●旧塗膜に脆弱部のある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000などで段差修正後、パターンの復元を行ってください。 ●高圧水洗(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							—	
1	下塗り ※9.10.11	エスケープハイブリッドシーラー-EPO 主剤*	100	0.08~0.12	1	—	6以上 7日以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
		エスケープハイブリッドシーラー-EPO 硬化剤*	20						
2	上塗り	エスケープ(弾性)プレミアムシリコン	100	0.22~0.35 *	2	2以上	—	24以上	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	0~8 ※12	—					

*モルタル、コンクリート下地の改修用としてもご使用いただけます。詳しくは別途お問い合わせください。

*サイディング等凹凸が小さく吸い込みが少ない下地の塗り替えの場合は所要量が少なく、吹付けタイル下地等凹凸の大きく吸い込みが多い下地の塗り替えの場合には所要量が多くなります。また、規定所要量を厳守してください。

- ※1. この他、水性ソフトサーフSG(16kg石油缶)、水性ソフトサーフエポ(16kg石油缶)もご使用いただけます。また、弾性仕様の改修にはエスケープ弾性プレミアムフィラーや、水性弾性サーフエポ(16kg石油缶)をご使用ください。但し旧塗膜が高弾性の場合や、水性弾性サーフエポの防水形仕上げ仕様には、上塗材にエスケープ弾性プレミアムシリコンをご使用ください。
- ※2. エスケープ弾性プレミアムフィラーの所要量、希釈率は塗装器具により異なります。なお既存パターンや下地の状態により所要量が異なる場合がありますのでご注意ください。
- ※3. エスケープ弾性プレミアムフィラーの厚付仕上げの場合の清水での希釈率は、マッシュクローラー塗り時で「2~5」、リシンガン塗り時で「5~8」となります。
- ※4. マッシュクローラーまたはリシンガンで塗装する場合、工程間間隔時間が4時間以上となります。
- ※5. 下地の状態によりシーラーや目荒しが必要な場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※6. 下塗りには必ず指定の材料をご使用ください。また、下塗りにはこの他、水性ミラクシーラーエコ(クリヤー・ホワイト、15kg石油缶)、溶剤タイプの★ミラクシーラーES(15kg石油缶)、弱溶剤タイプの★液マイルドシーラーES(クリヤー・ホワイト、14kg石油缶)もご使用いただけます。
- ※7. 水性SDサーフェスポレミアムの清水での希釈率は、スプレー塗り時、刷毛・ローラー塗り時共に「5~10」となります。
- ※8. ★マイルドSDサーフェスポレミアムの★塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10~20」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。低温化では塗料粘度が高くなるため、希釈範囲内で、希釈率を上げるようにしてください。
- ※9. 下地の種類により所要量及び塗回数が異なります。吸い込みの著しい場合は2回塗りとしてください。
- ※10. 希釈しますと付着力低下や性能低下などの原因となりますので希釈は絶対にしなしてください。
- ※11. エスケープハイブリッドシーラー-EPOの素地別の所要量の目安は、塗装サイディングボードで「0.08~0.12」、押出成形セメント板で「0.08~0.12」、コンクリート・モルタルで「0.15~0.20」、けい酸カルシウム板で「0.15~0.20」となります。
- ※12. 清水での希釈率は、スプレー塗り時で「4~8」、刷毛・ローラー塗り時で「0~8」となります。

■標準施工仕様

●新築/複層塗材E仕上げ(硬質)(下地:モルタル、コンクリート)

(23℃)

工程	材料	調合(重量比)	所要量(kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地調整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							—	
1	水性ミラクシーラーエコ(クリヤー・ホワイト)	既調合	0.10~0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm	
2	レナラック主材	100	1.3~1.7	1~2	2以上	吹放し 16以上 凸部処理 0.5以内	—	タイルガン 口径:6.5~10mm 圧力:392~588kPa (4~6kgf/cm ²)	
	清 水	0~5	—						
(3)	凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。							—
4	上塗り	エスケーププレミアムシリコン	100	0.25~0.35	2	2以上	—	24以上	
		清 水	0~8	—					

●新築/防水形複層塗材E仕上げ(弾性)(下地:モルタル、コンクリート) ※下地調整、下塗り工程は上記参照。

(23℃)

工程	材料	調合(重量比)	所要量(kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
2	主材塗り(基層塗り)	レナフレンド主材	100	1.5~1.8	1	—	3以上	—	
		清 水	3~5	—					
3	主材塗り(模様塗り)	レナフレンド主材	100	0.7~0.9	1	—	吹放し 18以上 凸部処理 0.5以内	—	
		清 水	0~2	—					
(4)	凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。							—
5	上塗り	エスケープ弾性プレミアムシリコン	100	0.25~0.35	2	2以上	—	24以上	
		清 水	0~8	—					

※1. ALC面、多孔質下地、粗面、その他下地に問題がある場合には、カケンファイバー(粉体20kg袋、混和液10kg石油缶)、ミラクファンドKC-1000(粉体20kg袋、混和液5kgポリ容器)などにて下地調整を行ってください。なお、改装工事にはミラクファンド各種をご使用ください。

※2. 水性ミラクシーラーエコは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けると共に、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。

※3. 希釈しますと付着力低下や性能低下などの原因となりますので希釈は絶対に行わないでください。

※4. 灯油など他の材料の使用は絶対に避けてください。

※5. 清水での希釈率は、スプレー塗り時で「4~8」、刷毛・ローラー塗り時で「0~8」となります。

■施工上の注意事項

- 上塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- 濃い色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い色を塗装してください。
- 上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨が当たらないようにしてください。
- 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻り水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨が当たらない部位などは、注意が必要です。
- 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しできないよう、注意してください。
- 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。各シーリング材は可塑剤を含まないノンブリードシーリングをご使用ください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどを用いた高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで、パネルの変形や塗膜のふくれ、はがれなどを生じることがあります。ご採用に当たっては、最寄りの営業所にご相談ください。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- かびや藻が付着している場合は、S/Kカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、若干の色目差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈率等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行い、スプレー塗りやローラー塗りや仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 改装工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を傷め、膨れ、ちぢみなどの異常が発生することがあります。試し塗りに確認の上、本施工に入ってください。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- 間隙が広いなど大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行なってください。
- 塗膜の膨れ、はく離、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露がある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生、つや引けにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。なお、しみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、采暖及び采暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 著しく結露を生じような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤形塗料での塗装を推奨いたします。
- 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- 艶調整品(艶有り以外の半艶、3分艶など)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所ですべりを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。

